

健康診断結果の説明

検査項目		検査の説明
計測	BMI	BMI (体格指数) = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m)) で計算します。 BMI = 22 となる体重が理想的です。
血球算定	白血球数	感染症や、炎症性の病気があると増加します。
	赤血球数	貧血の時に減少します。
	ヘモグロビン	貧血、その他の造血障害、栄養障害などで減少します。
	ヘマトクリット	身体内の血液が薄くなると低下します。
	血小板数	少ないと止血の機能がうまく働きません。
代謝	網状赤血球数	骨髄で赤血球がつくられているかの目安です。
	グルコース	高いと糖尿病が疑われます。
	HbA1c	
	尿糖定性	動脈硬化を防ぐために250mg/dl以下を保つことが望まれます。 中性脂肪の上昇は肥満、脂肪肝、糖尿病の誘因となります。 善玉コレステロールと言われており、動脈硬化の防御因子として働きます。 悪玉コレステロールと言われており、動脈硬化の促進因子として働きます。
	総コレステロール	
	中性脂肪	
HDL-コレステロール		
LDL-コレステロール		
呼吸器	胸部 X-P	肺の病気(肺がん・結核・気管支拡張症・肺気腫など)や心臓の病気を調べます。
循環器	血圧 安静時心電図	最大血圧135以上または最小血圧85以上は高血圧症の疑いがあります。 不整脈、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患などを調べます。
腎機能	尿検査 蛋白 潜血	尿に蛋白や血液が混じっていると腎臓や膀胱の病気の可能性があります。
肝・胆・膵	総蛋白	栄養状態やがんなどの病気によって増減します。
	総ビリルビン	高いと肝臓の病気、胆のうの病気が考えられます。
	AST (GOT)	肝臓の病気や胆のうの病気などで増加します。
	ALT (GPT)	高いと肝臓の病気が強く疑われます。
	ALP	肝臓の病気や胆のうの病気で上昇します。
	LDH	肝臓の病気、心臓病、がん、感染症などで上昇します。
	γ-GTP	肝臓の病気、特にアルコールによる障害があると増加がみられます。

2010年6月26日改定



私のクリニック目白

Miss & Mrs.